

普及活動情勢報告（令和4年3月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

収量アップを目指そう！

・・・西土佐新規就農者支援チーム巡回指導・・・



2月14日、四万十市西土佐地区で農業次世代人材投資事業を活用する新規就農者5名に対して、四万十市担当職員・JA営農指導員・農業改良普及課職員6名で構成する支援チームでは場を巡回し、栽培・経営状況の確認を行いました。

新規就農者は、雨よけハウスや簡易雨よけ設備で米ナス栽培に取り組んでいます。農業改良普及課は、3月中旬から下旬の定植に向けた堆肥散布や畝立て、かん水チューブ設置、マルチ被覆等の作業など、今後の栽培について助言・指導を行いました。

今後も支援チームで定期的に栽培・経営状況の確認を行い、栽培管理を指導していきます。

目標収量の達成は？

・・・黒潮町新規就農者支援チームによる現地確認・・・



2月17,28日、黒潮町の新規就農者15経営体を対象に、関係機関で構成する支援チームでは場を訪問し、栽培・経営状況や今後の課題について確認を行いました。

R3年の目標収量を達成するなど順調に栽培している農家が多く、「タブレットでハウス内環境を確認している」、「更に収量アップを目指したい」などの声がありました。

今後も新規就農者の経営目標達成に向けて支援チームで栽培・経営などの支援を行っていきます。

光の入る「窓」作ろう！

・・・四万十ぶしゅかん生産組合剪定講習会・・・



2月25日、四万十ぶしゅかん生産組合の剪定講習会を開催し、生産者9名が参加しました。

農業改良普及課は、幼木・成木の整枝・剪定の技術指導と栽培管理（カミキリムシ対策）などの情報提供を行いました。

生産者からは「間引き剪定と切り返し剪定の使い分けは？」、「花芽が着く枝はどれ」、「主枝・亜主枝の枝先の切り方は？」等の意見がありました。

今後も引き続き、整枝・剪定技術の向上と収量安定に向けて個別巡回指導などの支援を行っていきます。

四万十川沿いの耕作放棄地にクリ園出現！

・・・水田転換園へのクリ新植・・・



3月10日、四万十市高瀬地区でしまんと流域野菜（株）がクリの新植を行いました。四万十ドラマ（株）からも作業応援があり、約40aに約150本のクリを新植しました。

農業改良普及課は、同一園内に異なる品種を植える場合や、日射方向が限られている場合の新植位置の決め方、植付手順について指導しました。

今後は、樹が安定して生育し、将来的に着果が安定するように栽培管理を指導していきます。

文旦のいい花咲かそう！

・・・JA高知県幡多地区宿毛支所文旦研究部会剪定講習会・・・



3月15日、JA高知県幡多地区宿毛支所文旦研究部会の剪定講習会を開催し、生産者19名が参加しました。

農業改良普及課は、土佐文旦の整枝・剪定（低樹高化）や昨年問題となった病虫害・生理障害、3月から5月にかけての管理作業・栽培管理などの情報提供を行いました。

生産者からは「表年・裏年の剪定方法は？」、「残す母枝はどれ？」、「切り下げと切り上げ剪定の位置は？」等の意見がありました。

今後も引き続き、モデル樹の設置や整枝・剪定技術の向上と収量安定に向けての支援を行っていきます。